

会長あいさつ

日本放射線影響学会 会長

神谷研二

(広島大学 原爆放射線医科学研究所長)

本学会は、放射線影響に関する我が国最大の学術団体であり、放射線影響に関する幅広い研究の推進により多くの国際的な実績を挙げて来ました。同時に、放射線に関する安全と放射線医療の基礎を担う学術団体として国民の安全と安心、及び健康の増進に貢献して参りました。この度、この様な重要な役割を担う学会の二期目の会長職をおおせつかり責任の重さに身も引き締まる思いです。会員の皆様方の叡智を結集し学会の発展のために努力致しますので、ご支援とご助言をどうかよろしくお願い申し上げます。

前回の会長挨拶で、国際放射線研究連合会議（ICRR ; International Congress of Radiation Research）の招致が、今後の大きな懸案であることを述べましたが、幸いな事に関係する皆様の努力により、2015年の日本での開催が決まりました。ICRRの開催は、1979年に東京で開催されて以来であり、本学会はICRR開催の中心学会としてこの大会を成功させる必要があります。本学会は、国際放射線研究連合（IARR ; International Association of Radiation Research）の会長や理事を輩出し、国際的な枠組みでの放射線研究の推進に貢献してきました。この度、佐々木会員に次いで、丹羽会員がIARR会長に就任されることは、本学会の誇りとするところであり、同時に本学会の果たす役割が益々大きなものになっています。一方、第1回会議を広島で開催することで産声を挙げたアジア放射線研究連合(AARR)もその後、順調に発展を続けています。2009年5月には第2回アジア放射線研究会議が韓国ソウル市で開催され、アジアの研究者に貴重な情報交換の場を提供しています。この様に、本学会は、国際的な放射線研究の推進に大きな役割をなしています。

さて、放射線影響研究は、現在重要な局面を迎えています。学術的には、放射線によるゲノム損傷とその後の細胞応答やDNA修復機構の研究が飛躍的に進歩し、これらの機構が生命の根幹的なメカニズムであると同時に、個体を様々なストレスから守る生体の防御機構であることも明確になってまいりました。即ち、放射線影響研究は、生命現象の基も基本的な現象を取り扱う先端的な生命科学領域に踊り出しています。同様に、放射線安全研究も新たな時代に入りつつあります。微量な放射線に対して生体が応答していることが分子、細胞、固体のレベルで明らかになって来ています。次世代シケンサーの登場は、低線量放射線の影響を網羅的なゲノムレベルで解明できるポテンシャルを持っています。この様な研究の進歩により、放射線リスクに関し科学的根拠に基づいたより正確な情報を提供できる様になるものと考えられます。また、放射線医療分野では、癌治療における放射線治療

の担う役割が益々重要なものになっています。そこでは、放射線診断・治療における放射線生物学の果たす役割に大きな期待が寄せられています。放射線生物学の得意分野である放射線応答分子を標的とした放射線診断・治療法の開発は、生体に負荷の少ない新しい診断・治療法を切り開く可能性を持っています。

一方、社会的には、医療や産業での放射線利用の増加に加え、地球温暖化防止策としての原子力エネルギーの利用増加等により、放射線影響に関する研究は、人類の安全を守る学術として、今後、益々重要になるものと考えられます。特にアジア諸国では、目覚ましい経済発展により放射線利用が激増することが予想されます。現在、その安全を担保する人材の育成が緊急課題となっており、日本に対する大きな期待があります。

この様に、放射線研究領域は、学術的にも社会的にも極めて注目されている分野であり、大きな躍進が期待されます。本学会は、放射線研究の学術的重要性と社会的必要性を最もよく理解している学術団体として積極的にこの分野の推進を図り、高度な学術情報の発信をすると共に、国などにもその振興策について提言していきたいと考えます

被爆国日本は、放射線影響研究を積極的に推進し、当該分野のリーダーとして世界に貢献する必要があります。本学会は、会員の皆様の積極的な取り組みによりその先頭に立ちたいと考えます。そのためにも学会では、会員の皆様の活発な研究活動を引き出せる環境を整えていきたいと考えます。同時に、次世代を担う若手研究者の支援と、新人のリクルートにも精力的に取り組むたいと考えます。

会員の皆様の研究の発展を心より祈念申し上げます。

このページに関するお問い合わせは、日本放射線影響学会事務局までお願い致します。

〒263-8555

千葉県稲毛区穴川 4-9-1

日本放射線影響学会事務局

E-mail:m_nenoi@nirs.go.jp

Phone:043-206-3082

FAX:043-255-6497